

宿泊學習事後學習

4組3班

農業体験



体験準備・全体ガイダンス

<アスパラガス> 収穫～出荷まで 見学

<えひめAIづくり> 家にあるものでつくる農業資材

昼食タイム(バス内)

<かぼちゃ苗の植え付け&水やり>

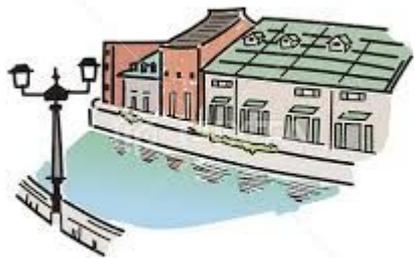
<くつろぎタイム>

<バジル&ミント&ナスたちウム>

<農場散策&有機農業のおはなし>

普段できない貴重な体験をさせて
いただきました！





班の仮説

小樽は、国際港だったため、早く外国の文化が入ってきた。入ってきた文化を小樽で発展させ、今の特色になっているのではないか。

私達の仮説は、外国と小樽の関係に注目したものです。

これらを確認するために、どのようなことを質問し、どのようなことを知るといいかを考え、質問を作りました。





たくさんの資料や昔の雰囲気を経験できる遊び、以前実際に存在していたレトロなお店などが、小樽の歴史としてかかれています。

例えば

- ・小樽は明治初期から現在にかけて14万人近く人口が増えていた
- ・明治から大正にかけて外国製品の物が売ってる店が多く開店

このことから、明治から何かがあったのかが分かります。そこで、もっと詳しく調べてみると明治に北海道初の鉄道が開通したことがわかりました。

自主研修

小樽市総合博物館



インタビュー

Q.小樽運河の歴史

A.元々小さい街だった。小樽運河も汚く。しかし

街の人達が「せめて小樽運河は残そう」となり、たくさん掃除などをして綺麗にした。そうして今は観光で人気になった。

Q.今現在、長谷川さんにとっての小樽運河とは

A.街並みが良く落ち着くところ。

観光客からは「おたる運がっば」が人気。

Q.おたる運がっばが出来た理由

A.北海道にはあまり「ゆるキャラ」がない。小樽は観光地として有名になっているところだから作ろうということで出来た。

仮説は本当にあったのか。

仮説

小樽は、国際港だったため、早く外国の文化が入ってきた。入ってきた文化を小樽で発展させ、今の特色になっているのではないか。

▶仮説はあったと言える。

なぜなら、質問で答えてもらったように、今の小樽は外国から入ってきたオルゴールなどの文化を、小樽で成長させ今の特色になっている。

たとえば、オルゴールやガラス細工などがあてはまる。

このことから、小樽は外国から入ってきた文化を小樽で発展させ今の特色にしているといえる。



自主研修 - 昼食 -

モスバーガー



「らー麺京や」に行く予定

→終了していきけなかった

第2希望のラーメン麻ほろに行こう

→探しても見つからなかった

→結局近くにあったモスバーガー
にいきました



モスバーガーで食べたもの
・テリヤキバーガー
・ホットドッグ など



まとめ

小樽はどのような街で、
仮説は本当にあったのか。

宿泊学習で達成できたこと

- ・前述の私たちの仮説を確かめること

- ・楽しみながら学び、とても良い体験ができた

→今回の宿泊学習で発見した、新しい考え方などを普段の生活につなげ自分の価値観などを成長させていきたい。

この学びを生かし、来年の修学旅行をより良いものにしたいと思います。